

C演習I

石井健太郎・杉川智・SAのみなさん
(423研究室・オフィスアワー火3限)

成績評価方法

- **確認テストとプログラム作成試験で評価する**
 - 確認テストは筆記試験
 - プログラム作成試験はプログラミング実技試験
- **ただし, 遅刻・欠席・毎週の課題の未提出は減点の対象**

- **(第1演習室のみ)追加課題を作成したら私に見せてください**
 - 正解ならばプログラム作成試験のわずかなボーナス点としてカウントします
 - 不正解の場合のペナルティはありません

進めかた

- 1限の冒頭に(必要があれば2限の冒頭にも)その日の概要・ポイントを話します
 - 遅刻すると減点であるだけでなく, 説明も聞き逃すため効率が著しく悪いことを承知すべし
- 教科書を読みながら, 課題を解くことで技術を習得する
- 考えたうえでわからない箇所があったら,
教員・SA・周りでわかっている人に聞いてください

- 講義情報
 - <http://lss.oit.ac.jp/~mizutani/progint/2016/index.html>
 - <http://lss.oit.ac.jp/~t2015039/index.html>

- すでに経験のある人へ
 - 先の課題にとりくんでもらってかまいません
 - 周りの人のわからないところを教えてあげてください(自分のスキルアップにつながります)

授業のねらい

- **他の専門科目の理解に必要となるプログラミングを習得する**
 - C言語プログラムの書きかた
 - 計算処理・条件判断処理・繰り返し処理・関数・配列といったC言語の機能
 - さまざまな課題をプログラムとして実現する方法

到達目標

- (a) C言語の基本的なコーディング方法および変数について理解している。
- (b) 条件分岐や繰り返しを使用したプログラムを作成することができる。
- (c) 配列や関数を使用したプログラムを作成することができる。
- (d) 自分で問題に応じた簡単なプログラムを設計して、
問題解決に応用できる。

A: (a) ~ (c) の項目を80%以上達成しており、(d) についても達成している。

B: (a) ~ (c) の項目を80%以上達成している。

C: (a) ~ (c) の項目を70%以上達成している。

D: (a) ~ (c) の項目を60%以上達成している。

F: 上記以外